

令和4年度日本いも類研究会総会・いも類講演会

日時 令和5年 3月 16日 (木)

場所 ZOOM ウェビナー方式によるリモート会議

- | | |
|---|-------------|
| 1. いも類講演会 | 13:00~15:50 |
| 主催 (一財) いも類振興会 日本いも類研究会 | |
| 開会挨拶 | 13:00~13:05 |
| 講演 | |
| ばれいしょ栽培の省力化技術の開発 (仮題) | 13:05~13:45 |
| 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部
十勝農業試験場 研究部 豆類畑作グループ 研究主査 | 青山 聡 氏 |
| 種ばれいしょ栽培におけるソイルコンディショニング等
機械化新技術体系 (仮題) | 13:45~14:25 |
| 東洋農機株式会社 監査役 | 大橋 敏伸 氏 |
| 青果用かんしょの省力機械移植栽培体系の確立 (仮題) | 14:25~15:05 |
| 徳島県立農林水産総合技術センター 農産園芸研究課 統括研究員 | 村井 恒治 氏 |
| かんしょ機械化一貫栽培体系による省力化の実現 (仮題) | 15:05~15:45 |
| 井関農機株式会社営業本部 夢ある農業ソリューション推進部 部長 | 三輪田 克志 氏 |
| 閉会挨拶 | 15:50 |
| 2. 日本いも類研究会 総会 | 16:00~17:00 |
| (1) 令和4年度事業報告及び収支報告 (案) | |
| (2) 令和5年度事業計画及び収支計画 (案) | |
| (3) 令和5年度・6年度役員改選 (案) | |

参加申し込みは、下記のリンク先の申し込みフォームからお願いします。
スマートフォンからは下部のQRコードを読み取ってアクセスできます。
https://www.jrt.gr.jp/imo_koen/koen_r04/r04_entry_member/

ご入力いただいたアドレスあてに、事務局からZOOM ウェビナーへの参加URL (招待状) を
前日までに送信させていただきます

申し込みフォームが利用できない方は、
電話 (03-3588-1040 担当:中澤) か、FAX (03-3588-1225) で参加する旨を連絡ください。
会員情報として登録されているアドレス宛に招待状を送信させていただきます。



会員発案事業

第1回コエド芋パーク

お芋の聖地に全国のさつまいもが大集合

2023年2月11日（土） 2月12日（日）

主催：コエド芋パーク実行委員会

◎イベント名：『コエド芋パーク』

◎開催場所：蓮馨寺 境内前広場

◎開催日時：2023年2月11日（土）・12日（日）10：00～16：00

◎主催：コエド芋パーク実行委員会

◎出展：おいもカフェ (OIMO café) ・大学いも川越いわた ・高級芋菓子「しみず」・
くらづくり本舗 ・ミセスハンバーガー
・川越くもとゆき ・コエドビール ・サイボクハム ・アベチャンファーム
c o c o t 等(仮)

◎来場者目標：2,000人/日

◎出展社数：飲食12社/物販8社/協賛者2社

◎紅赤ワークショップ、紅赤料理教室など多彩な催し物

コエド芋パーク開催の背景

川越いも「紅赤」とは??

元祖川越いもと称される品種で洗練された雑味のない味わいが特徴。

日本のさつまいもの在来品種8種のうちのひとつで、発見から120年品種改良されずに育てられた唯一無二の品種といえる。

課題

栽培が非常に難しく、土質を選ぶことことからサツマイモの品種の中でもシェアはわずか数%であり、近年は収穫量の減少・担い手不足といった課題を抱えている。

テーマ

このままでは消えてしまうかも知れない川越の宝ともいえる食文化である「紅赤」を守るため川越芋を中心とした食農・食育イベントを実施する。

～サブテーマ：新たな「冬の川越の風物詩」となるイベントを実施し地域活性化につなげる～

ビジョン

「紅赤」のもつ文化や歴史を通じて食農・食育に興味を持っていただき、次世代の川越芋の担い手の育成及び新たなファン獲得のきっかけづくりを行う。

◎主催：コエド芋パーク実行委員会

- ・会長＝東京国際大学 名誉教授 サツマイモまんが資料館館長 ベリドゥエル
- ・副会長＝川越いも友の会 事務局長 サツマイモまんが資料館館長 山田英次
- ・事務局長＝TKM株式会社 代表取締役 木所 裕幸

◎共催：TKM(株)・川越開運堂(株)・(株)JTB 川越支店・蓮馨寺

◎協力：川越いも友の会・川越サツマイモ商品振興会・三芳町川越いも振興会・
さつまいもアンバサダー協会

◎後援：川越市・川越市観光協会・川越市観光推進協議会・川越市商工会議所等
日本いも類研究会、一般財団法人いも類振興会

蓮馨寺アクセス

〒350-0066 埼玉県川越市連雀町 7-1 TEL：049-222-0043 FAX：049-226-0676

・電車をご利用の方は・・・川越市駅より徒歩10分・本川越駅より徒歩5分

川越駅東口市内バス神明町方面行きにて蓮馨寺前下車(バス7分)

・車をご利用の方は・・・駐車場のスペースあります。



会員発案事業

JA 東京アグリパーク さつまいもイベント

「さつまいもワールド」

名称 五感で楽しむ～さつまいもワールド～

日時 2023年1月24日（火）～28日（土） 11：00～18：30

場所 JA 東京アグリパーク

（所在地：東京都渋谷区代々木2丁目10-12 JA 東京南新宿ビル）

主催 サツマイモ情報センター（日本いも類研究会）

（一社）さつまいもアンバサダー協会

趣旨 さつまいもを5感（視て、聴いて、触って、味わって、嗅いで）で楽しむ
つつ、さつまいもの魅力や可能性を知って（学んで）もらうイベントとする。

内容

1. 販売

焼きいもやさつまいも商品（店頭および店内）の販売を行う。さつまいも商品は
青果やさつマイモが原料の商品（干し芋やチップス等）。

また焼き芋メーカーなどの家電製品。

2. 展示

店内に展示スペースを設けて、さつまいもの在来品種や最新品種等、実物と説明
を展示。また、さつまいもに関する情報がまとめられたパネルを展示する。

3. さつまいもを使った催し

さつまいも重量当て

巨大さつまいもの重量当て、または、100グラムに一番近いイモを選びだす。

※一日に100グラムぐらい食べると良いとされるので、それを感覚的に知って
もらう。

さつまいもクイズ さつまいもに関する○×クイズを出す
時間を決めて日に何回か実施。勝ち抜きで一位の人には景品。

焼きいも食べ比べ 農林1号、農林5号、海外品種など入手困難な品種のみを
食べる

さつまいも物語 さつまいもに関する絵本や紙芝居の読み聞かせ

さつまいもミニ講座 さつまいもに関する基本的な知識の説明。

JA 東京アグリパーク TEL 03-3370-3001 FAX 03-3370-3017

入口にスロープがございますので、車椅子の方もご来場いただけます。

アクセス



「みどりの品種育成方針」の策定について

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221221.html>

令和4年12月21日

農林水産省

1. 「みどりの品種育成方針」について

農林水産省は、持続可能な食料システムを構築するため、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するみどりの食料システム戦略（以下「みどり戦略」という。）を策定するとともに、令和4年7月に施行されたみどりの食料システム法（環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律

（令和4年法律第37号））により、政府として強力に推進していくこととしています。

本方針では、みどり戦略の目標達成に資する品種育成とその迅速化を図るスマート育種基盤の構築に向け、その手順や到達目標、同基盤の活用を核としたこれからの作物育種の方向性を示しました。

2. 概要

(1) 品種開発力強化に関する目標

化学農薬・化学肥料の使用量低減や気候変動への対応等、みどり戦略の達成に向けた各作物の主要な育種目標と対応方向を整理。

(2) スマート育種基盤充実・強化の目標及び手順

我が国の品種開発力の底上げを実現するために必要となるスマート育種基盤の充実・強化に向けた目標や手順を整理。品種育成を強力に推進するための国家的育種インフラを整備し、国研、公設試、大学、国内民間企業等の品種開発力の充実・強化を推進。

添付資料

みどりの品種育成方針(PDF：716KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221221-2.pdf>

みどりの品種育成方針（参考資料）(PDF：1,893KB)

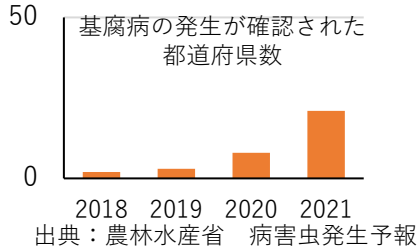
[s://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221221-1.pdf](https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221221-1.pdf)

カンショ・バレイショ

<現状と課題>

カンショ、バレイショは熱量供給が大きく、食料安全保障の観点から重要。自給率はそれぞれ95%、67%であるが近年単収が下がっており、増産が必要。

カンショにおいては、2018年に国内で始めて発生が確認されたサツマイモ基腐病が南九州を中心に急速に拡大している状況。減化学農薬栽培の推進、食料安全保障の観点から、抵抗性品種の育成・普及が喫緊の課題



バレイショにおいては、最重要病害であるジャガイモシストセンチュウ類(PCN)の発生が大生産地である北海道で拡大しており、有機栽培や減化学農薬栽培を推進する上で抵抗性品種の開発・普及が課題。



カンショは同質6倍体、バレイショは同質4倍体のため、ゲノム解析基盤の整備途上。育種データの蓄積も少ない。

- 情報の集積状況：カンショは近縁種、バレイショは2倍体のゲノム配列情報が公開されている。一部の病害虫抵抗性についてはDNAマーカーが開発されているが選抜精度が不十分。
- 遺伝資源の収集・保存状況：農研機構等で保有。海外品種や野生種を用いた抵抗性素材を開発中。
- 情報を活用する仕組みの開発状況：カンショにおいて、遺伝子型と環境条件の相互作用を解析中。

<スマート育種の方向性>

品種の育成

●カンショ：基腐病抵抗性を有した青果用・加工用品種の育成

サツマイモ基腐病抵抗性品種の他、つる割病、立枯病、センチュウ等の複合病害虫抵抗性を有し、青果、でん粉原料、焼酎原料、加工用の各用途に適した品種の育成を推進。



●バレイショ：病害虫抵抗性を有した安定多収品種の育成

重要病害であるジャガイモシストセンチュウ(Gr) およびジャガイモシロシストセンチュウ(Gp) の他、疫病、そうか病等に抵抗性を有し、でん粉原料、青果、業務加工用等の様々な用途に適した安定多収品種の育成を推進。



基盤整備

- 野生種・海外遺伝資源を利用した有用育種素材の迅速開発
- ゲノム情報、形質情報、系譜情報、育種情報等の育種ビッグデータの整備
- 病害虫抵抗性の高精度マーカーの開発
- 形質データの自動取得技術の開発
- 上記を組み合わせたスマート育種技術の開発

<マイルストーン>

今後5年程度(当面)

- 青果、でん粉原料、焼酎原料の各用途に適したサツマイモ基腐病抵抗性のカンショ品種の育成
- Gr抵抗性の青果用バレイショ品種、Gp・Gr抵抗性のでん粉原料用バレイショ品種の育成

今後10年程度

- 複合病害虫抵抗性を有するカンショ品種の育成
- PCN抵抗性の青果用、業務加工用バレイショ品種の育成